新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

２０２１年４月

一般社団法人 全日本ジュニア体操クラブ連盟

◎ はじめに

本ガイドラインは、日本スポーツ協会並びに（公財）日本体操協会が作成した「スポーツイベントの実施に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づき、本連盟における大会開催指針として作成致しました。

大会に関わる皆様におかれましては、このガイドラインに沿って大会時の感染拡大防止を徹底し、安全・安心な大会運営ができますようご理解とご協力をお願い致します。
なお、本ガイドラインは、現在の状況に基づき作成しています。今後の感染状況により内容の更新や見直しを致しますのでご了承ください。

◎ 大会開催にあたっての基本的な考え方

公益財団法人日本スポーツ協会並びに公益財団法人日本体操協会の示すガイドラインに基づき大会を開催することを前提とし、開催地並びに利用施設の方針やガイドラインを遵守し、大会に関わるすべての関係者への感染拡大の予防を適切に行なわなければならない。
実行委員会は、開催予定日の数ヶ月前から感染の状況を把握し、その状況に合わせた開催方法や観客の有無、販売物の取りやめ等を判断し、関係者に通達する。

◎当連盟加盟クラブに厳守して頂く事項

公益財団法人日本体操協会の示す「体操活動における感染拡大予防ガイドライン」を把握しガイドラインに沿った練習活動を行わなければならない。

《クラブ内での基本的な感染防止対策》

・練習前の手洗い、まめな手指消毒
・マスクの着用の義務。マスク未着用の際の会話を避ける。
・選手同士或いはコーチとのハグ、タッチ、握手等の直接接触を避ける。
・大声を出しての応援をしない。
・クラブ内の適切な消毒

その他各施設で作成しているガイドラインに従うこと。

◎当連盟は、最新の情報を基に大会運営の為のガイドラインを作成し、大会に参加する方々に通知し、安全、安心な大会が開催できるよう準備する。

【大会運営】

★ 当連盟は大会を開催するにあたり下記の点に注意して運営する。

- ◆ 万が一感染が発生した場合に備え、「体調管理検温表・同意書」を作成し、すべての大会参加者に提出を必須とする。
  同書により大会当日の全参加者を把握し、一定期間（一ヶ月以上）保管する。
  観客ありの場合、観戦チケットに個人情報を記入して頂き、退館時に回収し情報を一定期間(一ヶ月以上）保管する。
- ◆ 適切な日程・競技時程の作成
- ◆ コロナウィルス感染状況を注視し、観客の人数、無観客も視野に検討する。
- ◆ 参加者、運営スタッフ、観客の健康状態を把握する。
- ◆ 大会に関わるすべての関係者に対して別紙「大会ガイドライン」を配布する。
- ◆ 受付、会場出入り口、各部屋にアルコール等の手指消毒剤を準備する。
- ◆ 会場受付での検温機器を準備する。
- ◆ 感染防止対策の案内を体育館内に掲示する。

◆　トイレや手洗い場にポンプ式ハンドソープを準備する。
◆　室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所や机や椅子等
こまめな消毒を心がける。
◆　使用した器具や道具の消毒を器具会社の指示に従って行う。
◆　各部屋のドアは開放し、換気ができる部屋は換気を心がける。
◆　救護室は怪我の治療用と体調不良用と分けて準備するよう務める。
関係者以外立ち入り禁止とする。
◆　大会時或いは大会後に感染者が発生した場合は発生時フローに従って報告する。

【利用施設関連】

★　利用施設との感染防止対策に関する打ち合わせ並びに確認をする。
◆　関係者・観客出入り口、導線について
◆　受付、出店（販売物）について
◆　試合会場、会議室等各部屋の管理、更衣室やトイレについて
◆　試合会場内の換気について
◆　利用施設、設備の清掃・消毒について

【関係業者関連】

★　各関係業者との感染防止対策に関する打ち合わせ並びに確認をする。
◆　館内清掃やゴミ処理について
◆　器具の扱い方・消毒方法について
◆　警備並びに受付方法について
◆　販売をする場合の販売物の販売方法について

【大会開催時の感染防止について／主催者運営スタッフに向けて】

★　大会開催にあたり大会関係スタッフが感染防止のために注意、厳守すべきこと
◆　配布されたガイドラインの把握
◆　**「体調管理検温表・同意書」のすべての項目を記入し業務最終日に部署毎にまとめて連盟/ 開催地事務局に提出**すること。
特に補助役員をお願いする部署は同意書を提出してもらう。
◆　体調に異変がある場合は我慢せず、連絡をし自宅待機する。
◆　こまめな手洗い、手指消毒の実施
◆　マスクの着用を義務づける。
◆　各部署の室内が密にならないように配置を考える。
◆　各部屋のドアは換気のため可能な限り開けたままの状態にする。
◆　飲食をする際は周囲の人と距離を取って対面を避け、会話は控えめにする。
◆　各自の持ち物の自己管理と消毒
◆　各自のゴミの持ち帰り
◆　各部署でのミーティング等はできるだけ短く間隔を空けて行うこと。
◆　スタッフ、参加者並びに観戦者の感染防止対策が実行されてるかをまめに確認。
◆　参加者・観客の入場から退場までの会場動線の把握する。
◆　大会終了後２週間以内にコロナウィルスの感染が発覚した場合は事務局に
濃厚接触者の有無等について報告する。
◆　原則として参加者に各自のゴミを持ち帰ることとするが、その他のゴミを回収する
際や消毒作業をする際は必ず使い捨て手袋を着用する。
回収したゴミの扱いには十分注意し、できるだけ空気を抜いてまとめる。
◆　大会会場以外の場所での基本的な感染防止対策にも注意する。
◆　各自の持ち物の消毒やまめな手指消毒のために各自でも消毒液を持参する。
◆　マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する

【大会開催時の感染防止について／選手・コーチ・審判員に向けて】

★　大会開催にあたり参加者が感染防止のために注意、厳守すべきこと

- ◆　配布されたガイドラインの把握し、指示に従う。
- ◆　参加者に以下の事項に該当する場合は、参加クラブの責任において該当選手並びにコーチの参加を見合わせる。
  - ・平熱を超える発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚・嗅覚障害がある。
  - ・家族や身近な人に感染が疑われる場合。
  - ・濃厚接触者であると判断された場合。
  - ・自身が過去１４日以内に入国制限或いは入国後の観察期間を必要とされる国、地域への渡航がある場合、又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- ◆　**「体調管理検温表・同意書」のすべての項目を記入し、受付の際に提出すること。**
  同書により大会当日の全参加者を把握し、一定期間（一ヶ月以上）保管する。
  ※参加クラブでも同書のコピーを控えておくこと。
- ◆　体調に異変がある場合は我慢せず参加を見合わせる等の処置をとること。
- ◆　こまめな手洗い、手指消毒の実施
- ◆　手洗いの際は各自でハンカチ、タオルを持参すること。
- ◆　マスクの着用を義務づける。マスクを取り替える場合、使用したマスクはマスクケースやビニール袋に入れ各自持ち帰る。
- ◆　持参したペットボトルや使用済みティッシュ、使用後のテーピングテープ等各自のゴミは持ち帰ること。（館内にゴミ箱は設置しない）
- ◆　演技に必要な炭酸マグネシウムは各自名前をつけた入れ物に入れ持参すること。
  蜂蜜等も他の人と間違わないよう名前をつけて使用、保管すること。
- ※　チームで共有を希望する場合は、原則各自事前の消毒を忘れず、責任を持って管理すること。
- ◆　運営側でも手指消毒液は設置するが、各参加クラブも各自で手指消毒や使用用具等の消毒のための消毒液やトイレ、手洗い場で使用するタオルを持参すること。
- ◆　アップスペースでは直前練習前のストレッチ等のみにすること。
- ◆　更衣室では蜜にならないように順番に着替えをし完了後速やかに退室すること。
  着替えの際はマスクを着用すること。
- ◆　体育館内で食事は禁止とする。
- ◆　競技中に大きな声で会話、応援等をしない。
- ◆　他の選手との距離をできるだけ保つ。
- ◆　運動中に、唾や痰をはくことは行わないようにする。
- ◆　競技中にくしゃみや咳をする際は、極力自分のタオルで口を覆うこと。
- ◆　クラブジャージ、Tシャツには名前をつけ間違わないようにする。
- ◆　タオルの共有はしない。
- ◆　会場への移動、宿泊、食事等の管理は各クラブの責任において管理すること。
- ◆　参加者は必ず当日自宅や宿泊先で検温を行い、平熱を確認してから会場に向かう。
- ◆　特に選手については、帯同コーチが責任を持って選手の体調を管理する。
- ◆　大会中に発熱等の症状を訴える者を確認した場合は、保護者に連絡し欠場させる。
  また、そのような事態が発生した場合は、主催者に必ず連絡すること。
- ◆　大会終了後２週間の参加者に体調管理検温表を各々で管理すること。

大会終了2週間の間に感染者が出た場合、当該参加クラブの責任者は速やかに当連盟に報告すること。当連盟は、感染者が発覚した場合、該当者が参加した大会日に会場内にいたクラブとスタッフ並びに関係者にその旨を連絡する。